

保育園児を対象にした花育（寄せ植え）

～自宅で育てながら長く楽しむ～

作成者：花育指導者 高倉なを

- 対象者・人数：保育園児 15～25名
- 所要時間：約1時間
- 指導者・アシスタント人数：講師1～2名+保育士1～2名
- 実施場所：保育園

- 資材：・花用の培養土、鉢底石、舟（土入れ）、トレイ、シャベル、プランター



- 花材：・花壇苗 3～6種類
- ・球根（秋） 2～3種類



【指導内容と目的】

- ・「指導」ではなく、「体験をうながす」ことが基本スタンス。
- ・生きている花を見て、触れて、匂いをかいで、花の魅力を全身で感じさせる。
- ・土に触れ、シャベルで土をすくったり、ポット苗をポットから抜き出したり、花の咲き具合を想像して寄せ植えの位置を決めたり、プランターに土を詰めたり、手を動かして自分で寄せ植えを作りあげる達成感を体験する。
- ・室内に花を飾ることで、華やいだ雰囲気になり、リラックスして気持ちが安定することを体験する（園児も保育士も）。

【対象者への配慮】

- ・土は「汚いから触らない」ではなく、植物が生きるベースであることを教える。
- ・横から大人が手や口を出さない。
- ・スピードを求めない。
- ・他の園児との優劣をつけない。

1. 当日の流れ

当日の準備 約1時間、実施時間 約1時間

準備

- ・フネに土を入れ、トレイに鉢底石を用意する。
- ・園児の数により、同じ花を2か所に分けるなど工夫する。
- ・花壇苗を並べる。
- ・園児の分のプランターとシャベルを用意する。
- ・花の名前を書いた紙をフラコンに貼る。

2. 開始

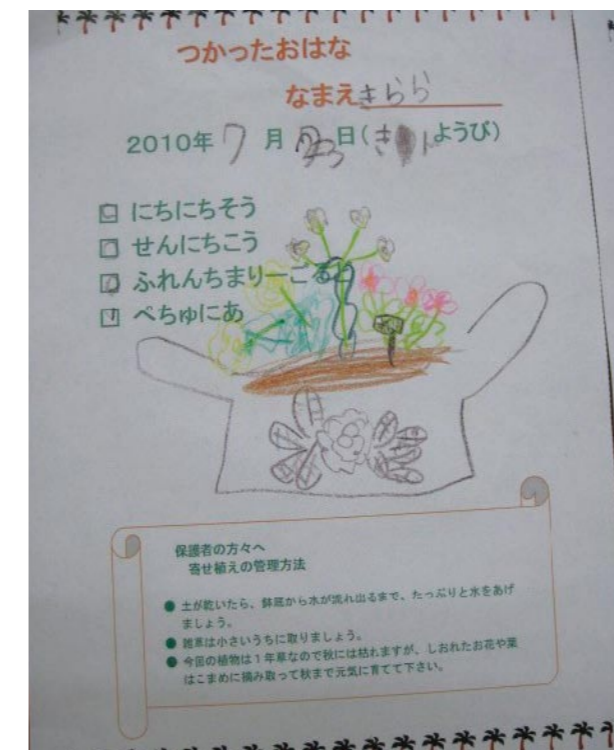
- ① 前月の花育で作ったアレンジや寄せ植えが自宅でどういう状態か、ちゃんと世話をしたかなど園児に質問し、話を聞く。
- ② 花の名前や特徴、季節行事の話、季節行事と花の関係などを説明。飽きさせないよう、30秒～1分おきに質問を挟んで答えさせたり、花に触れさせたり匂いをかがせたりする。

- ③ シャベルの使い方、土の入れ方、植えかえの仕方を説明。

- ④ 寄せ植え開始。できた園児から片付け、掃除、それが終われば「今日使ったお花」カードを描く。

3. 終了後

カードに絵やメッセージを描く。カードは保護者宛てのメッセージも兼ねている。



4.年間スケジュール(切り花・寄せ植え等含む)

月	活動名	内容
5月	切り花に触れてみよう	花育プログラムを始めるための導入としてのプログラム。 切り花をカップに挿すだけの簡単なフラワーアレンジを作る。
6月	スポンジに挿してフラワーアレンジ	切り花を吸水フォームに挿してアレンジメントを制作。
7月	夏の花の寄せ植え	ニチニチソウ、千日紅、ペチュニア、サルビアなど 一般的な夏の花壇苗を寄せ植え。
8月	夏のフラワーアレンジ	爽やかな香りのハーブと夏らしいヒマワリでアレンジを作成。 ヒマワリにもいろんな種類があることを紹介する。
9月	お月見のアレンジ	季節感や行事に興味を持つよう、お月見のアレンジを作成。 ピンポンマムを月に見たて、ススキ、ワレモコウで秋を表す。
10月	ハロウィンのアレンジ	海外から入ってきた行事「ハロウィン」を紹介し、 カボチャで収穫の喜びについて考え、遊び心のあるアレンジを作成。
11月	冬～春の花の寄せ植え	冬から春にかけて楽しむ花苗と、球根を植え、 春になったら球根から芽が出て花が咲くのを楽しみに。
12月	クリスマスのアレンジ	赤い花や実物などを使ったクリスマスアレンジ。
1月	早春のアレンジ	暖地から出荷される明るいパステルカラーの花を使って 花が空間を明るくすることを体験。
2月	ひな祭りのアレンジ	花桃や菜の花でひな祭りのアレンジを作成。 折り紙で作ったひな人形にピックを挿して飾る。
3月	卒園式のアレンジ	卒園式に飾る花を、直前に自分たちでアレンジする。 卒園式当日に飾った後、持ち帰って保護者にプレゼント。